



歌舞伎を描いた

明治の錦絵

平成30年9月22日(土)～11月25日(日)

特別展示記念講演会「役者絵の歴史」

講師 安田吉人氏

(中央学院大学非常勤講師)

日時 平成30年10月28日(日)

14時～16時

会場 福生市中央図書館二階学習室

定員 30人 ※先着順

申込 9月22日(土) 午前10時より

電話または下記窓口で受付いたします。



上 安達吟光「大江戸芝居年中行事」顔寄せの式 明治30年(1897)
 中 安達吟光「大江戸芝居年中行事」披露目の口上 明治30年(1897)
 下 豊原国周「早晚稲守田当秋」 明治2年(1869)

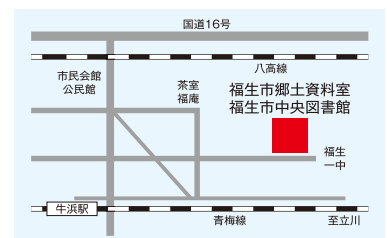


■ 福生市郷土資料室

〒197-0003 福生市大字熊川850番地1 電話 042-530-1120

開館日時 午前10時～午後5時
 月曜日休館 ※祝日の場合は開館し、翌平日休館

ホームページ <http://www.museum.fussa.tokyo.jp>



歌舞伎を描いた明治の錦絵

「大江戸芝居年中行事」

天保の頃の芝居小屋（劇場）の様子やしきたりを、二五枚の錦絵にまとめたものです。今後失われる恐れのある従来の歌舞伎のしきたりなどを錦絵として記録、出版することを意図して発行されたもので、一枚につき一つのテーマを画面と文章で解説しています。

安達吟光「大江戸芝居年中行事引幕と口上」

明治三〇年（二八九七）



鳥居清貞「大江戸芝居年中行事読み立て」

明治三〇年（二八九七）



本特別展示では、明治の歌舞伎に関する錦絵を選びすぐり展示いたします。洗練された線で描かれた人物、美しく上品な歌舞伎の衣装、臨場感溢れる各演目の見せ場などは一見の価値があります。是非、この機会にご覧ください。

尾形月耕「義士四十七図」浅野内匠頭家来大石内蔵助良雄

明治三五年（一九〇二）



尾形月耕「義士四十七図」堀部弥兵衛金丸

明治三五年（一九〇二）



「義士四十七図」

義士四十七とは、江戸の吉良義央邸に討入り主君の仇を討った赤穂浪士大石良雄ら四六人と、仇討ちのとき姿を消した寺坂吉右衛門を含めた四七人のことを指します。義士四十七図は、討入りに関わった義士らの印象的な場面を描いたものです。

「歌舞伎十八番の内 勸進帳」

明治天皇の御前で演じられた最初の歌舞伎が「勸進帳」です。天覧歌舞伎を記念して版行された錦絵だと思われまます。

豊原国周「歌舞伎十八番の内 勸進帳」

明治二〇年（二八八七）

